

ゆうちょ銀行の重点課題(マテリアリティ)

中期経営計画を具現化するために、当行は優先的に取り組む重点課題(マテリアリティ)を特定しました。これらは「社会とともに成長し続ける」当行が、「選ばれる銀行」としてお客さま、地域社会、環境、社員などのステークホルダーそれぞれに価値を提供する過程において、特に重視すべき課題を抽出・整理したものです。ビジネスの基本に立ち返り、マテリアリティを特定したことにより、社会と共存して成長することの重要性を認識し、全社員が実現に向け邁進します。

マテリアリティ選定プロセス

STEP1

検討すべき
社会課題の抽出

- 国際情勢分析
(SDGsなど各種国際的枠組み・国際基準、外部評価)
- 日本の情勢分析
(行政機関・金融業界)
- 国際的なイニシアチブの支持
(SDGs、TCFD、CDP、UN GLOBAL COMPACT、GRI)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

CDP
DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES



Global Compact
Network Japan

STEP2

対象とすべき社会課題の
絞り込み

- 当行の事業活動との関連性
当行の経営理念や方針、サービス、事業内容を基に、当行の事業活動との関連性が乏しい社会課題を除外
- ステークホルダーとの対話
外部調査機関の評価結果、外部有識者の意見等を参考に、当行に対する社会からの要請を踏まえた選定となっているかを確認



ステークホルダーダイアログ



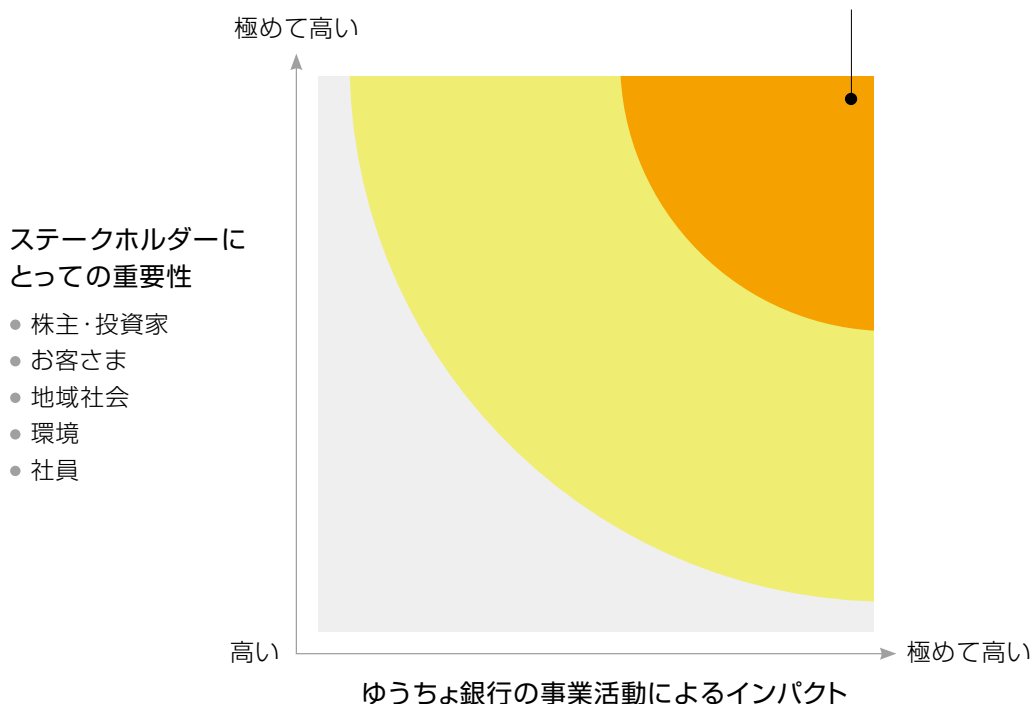
社内会議

STEP3

重点課題(マテリアリティ)の決定

経営企画部が中心となり、「ステークホルダーにとっての重要性」と「ゆうちょ銀行の事業との関連性」の2軸で重要な課題を抽出・整理し、マテリアリティマップを作成

持続可能な社会を実現し、
新たな価値を創出するために取り組む
重点課題(マテリアリティ)



STEP4

マテリアリティの特定

経営会議、取締役会において、マテリアリティの妥当性を検討した上でマテリアリティを特定。経営戦略と具体的取組に結び付けて取り組みを推進し、その進捗状況については、定期的に経営会議・取締役会に報告。なお、マテリアリティについては、社会環境の変化を踏まえて定期的に見直しを実施予定。

マテリアリティ



日本全国あまねく
誰にでも
「安心・安全」な
金融サービスを提供



地域経済発展への
貢献



環境の負荷低減



働き方改革、
ガバナンス高度化
の推進